

ジスラインS-NP (プライマー層 一体型)

取扱説明・施工要領書

この度は当社のジスラインS-NPをご採用頂き、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全に施工して頂くため、ご使用前に必ず本取扱説明・施工要領書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますようお願い致します。

※施工業者の方へ : 本取扱説明書・施工要領書は施工完了後、ユーザー様へお渡しください。

※ユーザー様へ : 本取扱説明・施工要領書は、大切に保管してください。

I. 取扱説明



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

◆全般的なご注意



警告

本製品は路面に貼り付けて区画線や情報を標示するものです。他の用途には使用しないでください。



ポイント

本製品はアスファルト路面に限り、プライマー無しで施工が可能です。

アスファルト路面以外に施工する場合は別途指定のプライマーをご使用ください。

設計者の方へ

◆設計上のご注意

- 凹凸の激しい場所や路盤が軟弱で変形しやすい場所には設計しないでください。
- 極端な凹凸や割れ目の多い場所への設計しないでください。
- 既存ラインや防水・撥水塗装が除去できない場所への設計はしないでください。
- 路面上のほこり、泥、水分、油分が除去できない場所への設計はしないでください。
- 磁器タイル及び樹脂舗装への設計は推奨致しません。
- アスファルト継ぎ目部分や、鉄製ジョイント・排水溝等を跨ぐ場所への設計はしないでください。
- 水没する可能性のある場所の設計はしないでください。
- 設置面の原状復帰は出来かねますのでご注意ください。

施工者の方へ

◆施工上のご注意

- 本製品はアスファルト路面に加熱溶融して貼り付けるため、路面にほこり、泥、水分、油分があると、接着不良により剥がれる場合があります。このような接着を阻害する要因を除去できない場合は避けてください。
- 既存ラインや防水・撥水塗装への施工は剥離する恐れがありますので、除去してから施工してください。
- 路面温度が5℃以下、雨・雪のある場合の施工は避けてください。
- 新設アスファルトの場合は夏期で2週間、冬期で3週間以内は施工を避けてください。バーナーでの加熱の際、高温でアスファルト路面が流動する恐れがあります。また、遊タール、アスファルト成分により汚れが付着したり剥離する恐れがあります。
- 新設コンクリートの場合は夏期で3週間、冬期で4週間以内は施工を避けてください。アルカリ性が強く、剥離する恐れがあります。施工の際には表層のレイトランスを除去してから施工しなければ剥離する恐れがあります。
- 保管の際は直射日光や水の当たる箇所を避け、40℃以下の場所に立て掛け厳禁にて保管ください。
- 本製品を落とすなど強い衝撃を与えないでください。製品の破損の原因となるため、両手で慎重に扱ってください。
- 後述の「ジスラインSの表面状態から見た加熱度合の判断」を参照し、適切な施工方法で施工してください。
- 夏場など散水した場合は、すべり易くなりますので、散水した水を除去してから交通開放してください。
- 路面状況や加熱の仕方により、施工後にパーツの隙間が発生することがあります。
- コンクリート面への施工をする場合、コンクリートに含有される水分によりシートに大きなピンホールが発生する可能性があります。
- 本製品はアスファルト路面に限り、プライマー無しで施工が可能です。アスファルト路面以外に施工する場合は別途指定のプライマーをご使用ください。

ユーザー様へ

◆その他のご注意

- 本製品が摩耗して消えてきた場合は、標示効果がなくなりますので早めの再施工をしてください。
- 施工後剥がれ等ないか定期的に点検してください。剥がれた部分等ありましたら除去し、弊社営業までご連絡ください。

Ⅱ. 施工要領

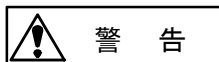
◆密粒・排水性アスファルト路面への施工の場合

準備していただく機械・工具・材料等	使用目的
・カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保
・ハンドバーナー ・LPGボンベ	シート加熱溶融とその燃料
・清掃用ブラシ、ほうき(プロアー等) ・抹消機	設置面の清掃
・チョーク、コンベックス	設置位置決定
・保護手袋、防毒マスク	作業員の安全確保

◆コンクリート路面、インターロッキングへの施工の場合

準備していただく機械・工具・材料等	使用目的
・カラーコーン、工事用バリケード	作業員の安全確保
・ハンドバーナー ・LPGボンベ	シート加熱溶融とその燃料
・清掃用ブラシ、ほうき(プロアー等) ・抹消機	設置面の清掃
・チョーク、コンベックス	設置位置決定
・保護手袋、防毒マスク	作業員の安全確保
・エポプライマーC	水分及びブリードの抑制
・ローラー、スポンジ、容器	プライマー塗布

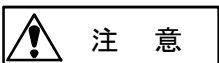
①安全確保



施工が安全に行える様に現場周辺にはカラーコーンや工事用バリケード等の安全用具の設置又は交通規制等を行ってください。

②路面の清掃

設置場所のほこり、泥、水分、油分、既存ラインなどの路面付着物をほうきやブラシまたは抹消機で取り除いてください。



路面上のほこり、泥、水分、油分が除去できない場所への施工は避けてください。
路面温度が5℃以下、雨・雪のある場合の施工は避けてください。
新設アスファルトの場合は夏期で2週間、冬期で3週間以内は施工を避けてください。
新設コンクリートの場合は夏期で3週間、冬期で4週間以内は施工を避けてください。



③貼付位置の決定

貼り付ける位置をチョーク等で正確に目印や線出しをします。



ジスラインS-NP プライマー塗布の注意点に関して

本製品はアスファルト路面に限り、プライマー無しで施工が可能ですが、アスファルト路面以外に施工する場合は別途指定のプライマー別途指定のプライマーをご使用ください。

設置路面と下地処理方法一覧

設置路面	舗装後期間		下地処理方法
	夏期	冬期	
密粒アスファルト路面	2週間以降	3週間以降	清掃のみ(プライマー不要)
排水性アスファルト路面	2週間以降	3週間以降	清掃のみ(プライマー不要)
コンクリート路面	3週間以降	4週間以降	表層研磨・清掃後、エポプライマーC塗布
インターロッキング	-	-	清掃後、エポプライマーC塗布

※コンクリート路面、インターロッキングへの施工の際は、弊社のエポプライマーCをご使用ください。

④シートの設置

同梱されている図面を参考にシート裏面に土砂等をつけないよう留意しながらシートを配置してください。分割されているシートはシート同士を突合せて配置してください。冬場は特に割れやすいため、取扱には十分ご注意ください。破断した場合は、その部分を元の位置に配置して加熱してください。光沢があり、ざらついている面が表面となります。



⑤加熱溶融

ハンドバーナーは往復操作を行って、断続的に加熱しますが、焦げない程度の火力にしてください。「ジスラインSの表面状態から見た加熱度合の判断」を参考にして頂き、加熱度ランクEまでシート中央から外側へ空気を抜くようにして必ず行ってください。特にシートの端は重点的に加熱してください。

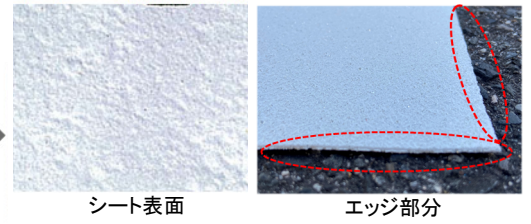
- ・ハンドバーナーの推奨口径:6cm~10cm
(小さいと熱量不足、大きいと作業性が悪くなります)
- ・炎の強さ:初めは弱火でシート全体を路面になじませます。後は中火程度で加熱します。
- ・ハンドバーナーと路面までの距離:20~40cm
- ・加熱時間:20分/m²
(路面温度20℃での目安です。路面温度が低い時は加熱時間を延ばして施工してください。)



ジスラインSの表面状態から見た加熱度合の判断

加熱度ランク	ジスラインS・ジスラインSデザインタイプの表面状態	図示	接着状態
A	路面になじむ		まったく接着していない
B	気泡により部分的にふくらみが発生		不十分
C	気泡が破れて穴が開く		不十分
D	さらに路面の細かい凸凹になじみ、シート表面がわいてくる		接着性発揮
適切 E	シート表面がわいてきて、大きな穴が小さくふさがっていき、小径の穴(針でついたように)が多数発生する。(みかんの皮状表面を呈する)		完全に接着性発揮
F	加熱し過ぎ さらに加熱するとシート表面が焦げてきます		完全に接着性発揮

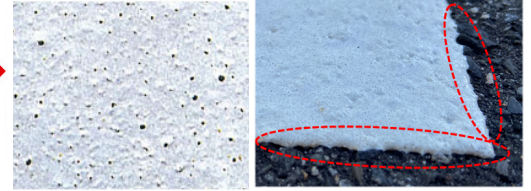
加熱度ランクB(加熱不十分)



シート表面

エッジ部分

加熱度ランクE(加熱十分)



シート表面

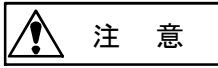
エッジ部分

※必ずランクEまで加熱してください。A～Dですとシート剥離の原因となります。



警告

・プライマー等の有機溶剤や燃えやすいものを近くに置いた状態での火器のご使用はしないでください。



注意

- ・加熱溶融時は発火や火傷の恐れがありますので、十分にご注意ください。
- ・熔融物が目に入った場合は、すみやかに医師の診断を受けて下さい。
- ・蒸気を吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・シートの加熱は、弱火で全体を馴染ませてから行ってください。加熱不足はシートの剥がれを起こしますので、上記の「ジスラインSの表面状態から見た加熱度合の判断」を参照し、適切な施工方法で施工してください。
- ・同じところを長い間加熱しますと焦げる場合がありますので、十分にご注意ください。

⑥交通開放

シート冷却後、指で触れてべとつかない程度になれば、交通開放してください。

夏場など冷却の遅い場合は、タイヤの跡がつきやすいため、施工後約5分ほど様子を見てから散水等で冷却してください。

散水した場合は、そのままにしておきますと滑りやすくなっていますので、路面の水分を除去してから交通開放してください。



注意

- 施工直後に散水しないでください。
- 施工直後に散水しますと突沸した蒸気により火傷する恐れがあります。

ジスラインS-NP 設置路面と下地処理方法 まとめ

設置路面	舗装後期間		下地処理方法	
	夏期	冬期	清掃・研磨	プライマー塗布
密粒アスファルト路面	2週間以内	3週間以内	原則施工しない	
	2週間以降	3週間以降	清掃	塗布不要
排水性アスファルト路面	2週間以内	3週間以内	原則施工しない	
	2週間以降	3週間以降	清掃	塗布不要
コンクリート路面	3週間以内	4週間以内	原則施工しない	
	3週間以降	4週間以降	表層研磨・清掃	エポプライマーC塗布
インターロッキング	-	-	清掃	エポプライマーC塗布